たんぽぽ だより

スマホ版ホームページ QRコード

社会福祉法人　赤碕福祉会

介護老人福祉施設　百寿苑
百寿苑デイサービスセンター
百寿苑きらりデイサービスセンター
百寿苑ヘルパーセンター
グループホームあかさき
グループホームきらり
グループホームはなみ
あかさき介護支援センター

鳥取県東伯郡琴浦町赤碕１０６１－３
（０８５８）５５－２０５１

赤碕福祉会 基本理念

一、報恩感謝　一、奉仕精神

第１２８号　令和６年７月発行

令和６年度　法人スローガン　「地域の輪　笑顔を届ける　百寿苑」

令和５年度を振り返って

施設長　入江　祐子

令和５年５月８日より新型コロナウイルス感染症の感染分類が５類となり、世間一般では感染対応が緩やかになる傾向が見られましたが、感染症は依然として散見しており感染対策は一部緩和しましたが従前どおりの対策を継続し、感染症を「持ち込まない・広げない」をモットーに利用者及び職員の健康管理に努めた１年でありました。

幸い利用者の健康に大きな影響となる感染症の蔓延は無く、重篤化される利用者がおられなかったことは利用者自身・ご家族の協力があったこと、職員による利用者への日々の健康管理、迅速な対応、職員自身の自己管理の積み重ねであったと思います。

地域における介護予防への取組みの広がりや健康寿命の延伸、新型コロナ感染症によるサービスの利用控え等考えられる要因により、サービスの稼働率の確保が年々厳しくなる現状があります。令和５年度は入所系サービスの空床日数の増加、在宅サービスの利用率が前年比 94.3%という結果となり、今後この傾向は続くものと予想されます。

当法人の強みに包括的ケアの提供があります。介護予防事業＋在宅サービス＋入所サービスの連携を充実かつ継続させることが地域の高齢者福祉を提供する事業所としての責務と捉え、訪問介護事業・通所介護事業・居宅介護支援事業の更なる発展に取組みました。

百寿苑のサービス内容を地域の高齢者・関係機関に広く知っていただく取組が必要であり、百寿苑情報誌「心が笑」の発行と在宅高齢者宅への配布、関係機関への情報提供等職員による営業活動を継続して行っています。

利用者に提供するサービスの質の向上への取組みとして認知症ケアの充実、サービスの自己点検と改善、リスクマネジメントによる事故防止、職員接遇マナーの向上、利用者サービス満足度調査の実施と改善、機能訓練の充実等々を行い改善に取組みました。また、看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士等の専門職による専門的技術の提供、介護士への助言・指導を行う等により専門性の高いサービスの提供に努めています。

近年、大規模災害に対する備えが重要となっていますが、災害時のライフラインの確保対策として今年度は３か所のグループホームに非常用自家発電機の設置を行うことができました。今後、生活用水の確保についても検討を進めていきます。また災害時及び感染症発生時の事業継続計画（BCP）の随時見直しを図り、火災発生時の避難訓練・大規模災害時の訓練を重ねながら災害への備えに努めてまいります。

社会福祉法人の責務である公益事業への取組みとして百寿苑配食サービス事業は地域において重要な社会資源となっていると考えます。食に対するニーズは高く、配食サービス利用者より「栄養不良が改善した」「塩分控えめの食事で体調が良くなった」等の声を多くいただきました。令和５年度も上限の１日 50 食近い提供となり、利用者の確実な安否確認を行いご家族への情報提供と連携を図ることで在宅生活の継続の一助となっています。

「介護サービスにおける生産性の向上」において、記録システムの積極的な活用による介護記録の効率化、LINEWORKS 活用による迅速な情報共有と効率化、勤怠管理システムの導入による勤怠管理の効率化、ZOOM を活用した会議の開催、特養の眠りスキャンとセンサー付きベッドの導入による夜間の見守りの効率化、走行式移乗リフトの活用等を行っています。様々な効率化に向けた取組は職員の負担軽減と利用者への関わりを増やす効果を生むことができました。今後も、インカム導入により職員間の連携の効率化を図る等更なる介護現場の改善に取組むことで利用者へのサービスの質の向上に努めて参ります。

令和５年度　決 算 報 告

事 業 活 動 計 算 書　　令和５年４月１日～令和６年３月 31 日　　（単位千円）

勘定科目	金　額	勘定科目	金　額
サービス活動費用	689,355	サービス活動収益	709,053
サービス活動外費用	736	サービス活動外収益	1,720
特別費用	59,761	特別収益	59,981
費用合計	749,852		
当期活動増減差額	20,902		
合　　計	**770,754**	**合　　計**	**770,754**

貸　借　対　照　表　　令和６年３月 31 日現在　　（単位千円）

試算の部		負債の部	
勘定科目	金　額	勘定科目	金　額
現金・預金	735,910	流動負債	70,356
その他の流動資産	124,409	固定負債	5,264
流動資産合計	**860,319**	**負債合計**	**75,620**
		純資産の部	
基本財産	571,305	基本金	105,790
その他の固定資産	430,102	国庫補助金等特別積立金	96,361
		その他の積立金	291,000
		次期繰越活動収支差額	1,292,955
		（内、当期活動収支差額）	20,902
固定資産合計	**1,001,407**	**純資産合計**	**1,786,106**
資産合計	**1,861,726**	**負債及び純資産の部合計**	**1,861,726**

あかさき食堂

６月 22 日、グループホームあかさきで「あかさき食堂」を開催しました。地域のボランティアで来て下さった方たちと一緒に食事を用意し、入居者や地域の皆さまと和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

▲美味しい食事や歓談を楽しみ、充実した時間になりました！

ご意見ありがとうございました ～ ご指摘及び要望とその対応について ～

（令和５年５月～６年４月分）

事業	申出	内容	対応
配食サービス	町民の方	利用者宅に訪問する際、百寿苑の公用車が地区の集会所の敷地内を通り抜けている。その場所は公園であり道路ではないので、通り抜けしないでほしい。	○配食サービス配達員が集会所敷地内を通り抜けたことがあったため、今後その場所は通らないよう指導を行い、全配達員に周知しました。 ○他法人のサービスも利用しておられたため、当該事業所へ担当ケアマネジャーから苦情内容について報告を行いました。
通所介護	利用者ご家族様	ベッドの介助バーがベッド柵の内側に入っており、ベッド柵を外すのに苦労した。これで３回目なので、連絡した。 ベッド柵は決めた通り、少し斜めの状態で設置してほしい。	○ベッド柵の正しい設置方法を職員間で再度統一するため、ベッド周辺の写真撮影を家族へ依頼し、了解を得ました。 ○写真を業務分担表に貼り、送迎職員は必ず写真を確認してから出かけることを統一、徹底しました。
通所介護	ご利用者様	百寿苑玄関に入り、事務所に向かって挨拶をしたが、何も返事がなかった。教育がなっていない。	○来所にいち早く気づくための環境整備として、受付窓口に一番近い職員の顔が窓口から見えるよう、机・パソコンの位置をずらす等、変更しました。 ○来客への意識づけとして、正面玄関自動ドア付近の動きを視界に入れる。また、挨拶への迅速な返事、窓口へ迅速に向かうことを徹底しました。

＜令和６年度第１回苦情解決事業報告会の開催＞

- 日時：令和６年４月１８日（木）
- 報告件数：３件
- 第三者委員からの意見

　日常的に一緒にいる家族から見ると「普段世話になっている」という気持ちから施設に意見を言いにくい。苦情が少ないからと言っても、家族から見ると世話になっているからという気持ちで不満を言いにくい、水面下に隠れているものある。サービス向上に努めてもらいたい。

福祉サービスに関する苦情解決の体制

●苦情解決責任者：施設長　入江　祐子　●苦情受付担当者：次長　奥田　恵
●中立の第三者委員：岡村　俊作氏　　吉田　忠男氏　　秦野　俊子氏

教えて！職員さん

　赤碕福祉会には、様々な施設や職種があります。
今回は、「厨房」に所属する調理員さんの日勤シフトの仕事を紹介させていただきます。

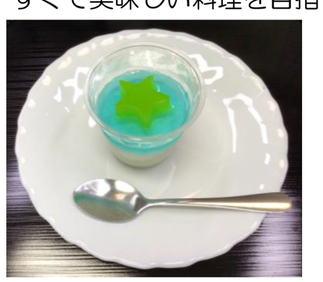
　夕食のアゴ団子の煮付けを作っている様子です。赤碕産のアゴミンチ（トビウオ）とごぼうや人参など野菜がたっぷりで、長芋や卵を入れることにより柔らかく仕上げています。

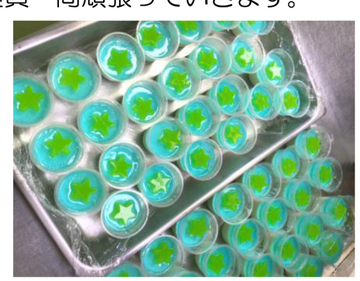
【厨房調理員（日勤）一日の流れ】

８：３０	朝食の片付け
８：４０	ミーティング
１０：００	おやつ作りの準備
１１：００	特養の配膳準備
１２：００	デイサービス昼食配膳 休憩
１３：００	夕食準備（主菜担当）
１５：４５	夕食配膳 （特養・配食サービス）
１７：１０	配食サービス弁当受渡し 片付け
１７：３０	退勤

　配食サービスのお弁当を配膳している様子です。炊きたてのご飯を量りながら盛り付けています。

　より良い料理を提供するに当たり、調味料の配合や調理方法などを厨房内で話し合いながら変更し、調理をしています。介護士の方から「○○（季節の行事）っぽいもの」「もう少し味付けを～」といった漠然とした注文があるときもあります。事前に試作品を作ってみることで、介護現場のイメージと合ったものになっているか確認をし、直接細かい話をすることはなくとも想いを反映したものが提供できるよう心掛けています。今後も利用者の方に合った食べやすくて美味しい料理を目指し、調理員一同頑張っていきます。





▲特養で提供した七夕ゼリーです。おしゃれに季節感を出すことができました。

厨房
調理員
岡　智子

外出の様子

暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。
今年は春からの陽気も続き、いろいろな場所にお出かけすることができました♪

▲図書館にも行きました。インドア派の方もぜひお出かけしましょう♪

赤碕といえば海！天候にも恵まれ、爽やかな潮風を感じることができました。

特養やグループホームでは
お買い物や外食を楽しむことができました。

普段とは違った場所に出かけることで入居者の皆さまに楽しんで頂けました。

カフェinはなみ

６月１９日、グループホームはなみで琴の浦高等特別支援学校の生徒さんと共同で「カフェ in はなみ」を開催しました。生徒さんには日ごろ培われた喫茶の接客技能を披露して頂き、笑顔あふれる楽しいひと時を過ごすことができました。

▲鳥取県が実施している技能検定「喫茶サービス部門」に参加し、接遇の腕を磨いておられます。

▲久しぶりのカフェの開催に入居者の皆さまも大満足でした。

心より感謝申し上げます

※４月中旬～７月上旬に寄贈、ボランティアの方を掲載しております。

寄贈

坂本様…タオル、藤居様…書画

秋田農園様…野菜苗

ボランティア様

日赤奉仕団様…草刈り

琴浦柔道クラブ様…畑作業、あかさき食堂手伝い

ことの会様…傾聴ボランティア

６月２９日、日赤奉仕団さまに法人敷地内の草刈りをして頂きました。

とても暑い日でしたが、敷地内を大変きれいにして頂きました。

法人運営に対するご理解とご支援を頂き、厚く感謝を申し上げます。